

2019/11/8

於：水産海洋学会ナイトセッション（仙台）

若手研究者が考える現場と協力した資源管理に関する研究 ～操業日誌を活用したズワイガニ稚ガニ保護～



← 甲幅30 mmの稚ガニ

福井県水産試験場

元林 裕仁

ズワイガニの資源状況（富山以西）

2020年～2021年に漁獲対象となる
第9齢個体が少ない

一方、本県沿岸は2022年以降に
漁獲対象となる第7～8齢個体は多い傾向

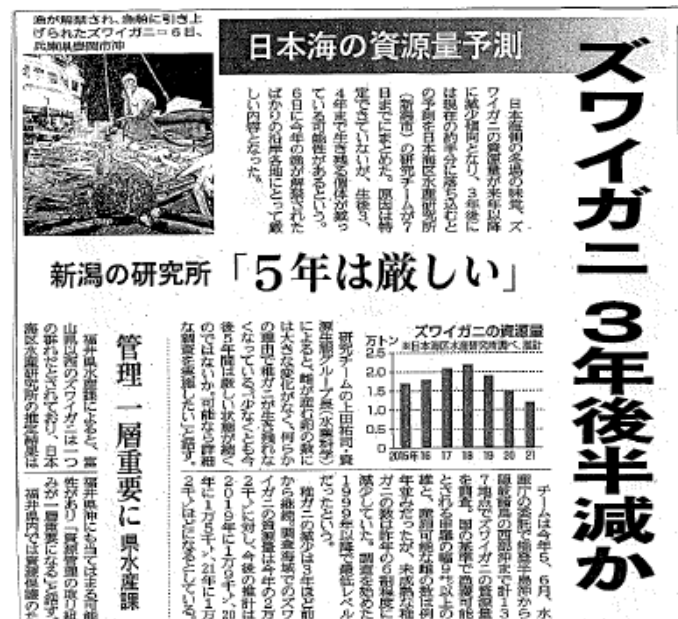
今いる稚ガニ資源の保護が重要！

○漁業者の取り組み（現状）

漁期ごとに稚ガニが多く入網・分布する
海域を2~3名の漁業者が互いに共有して
独自の資源保護を行っている

⇒しかし、本県の底曳網漁船は70隻存在

**現在、数名の漁業者が行っている稚ガニ資源保護の取り組みを
より効果の高いものにし、底曳網漁業者全体で取り組む！**



2018年11月8日福井新聞



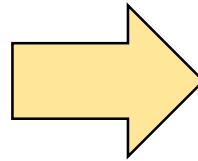
稚ガニの資源保護への取り組み（今後の展開）

操業日誌の電子化と日誌の依頼

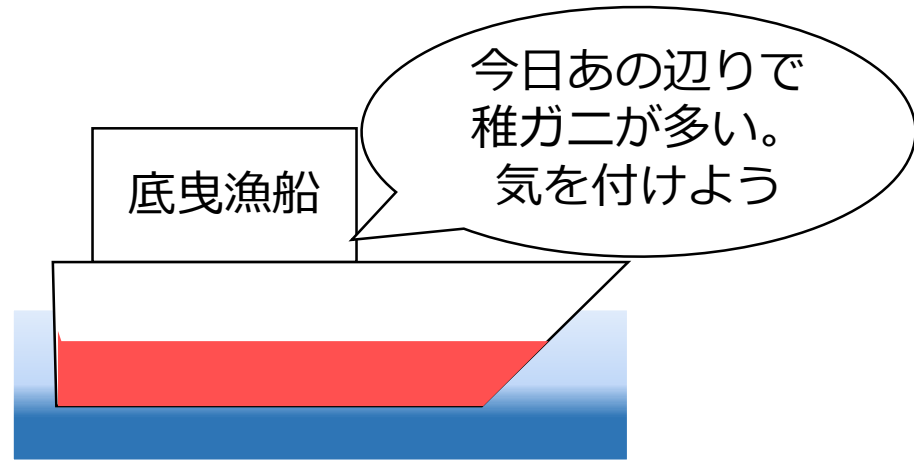


〈標本船日誌〉

- ・ 操業日時
- ・ 操業場所
- ・ 漁獲物の入力



情報の提供（リアルタイム）



稚ガニの情報のみ全船で閲覧可能

漁業者と協力して稚ガニの資源保護に取り組むことでズワイガニ資源の持続的な利用を目指していきます！